



DIVERS

NGK Collaboration Square

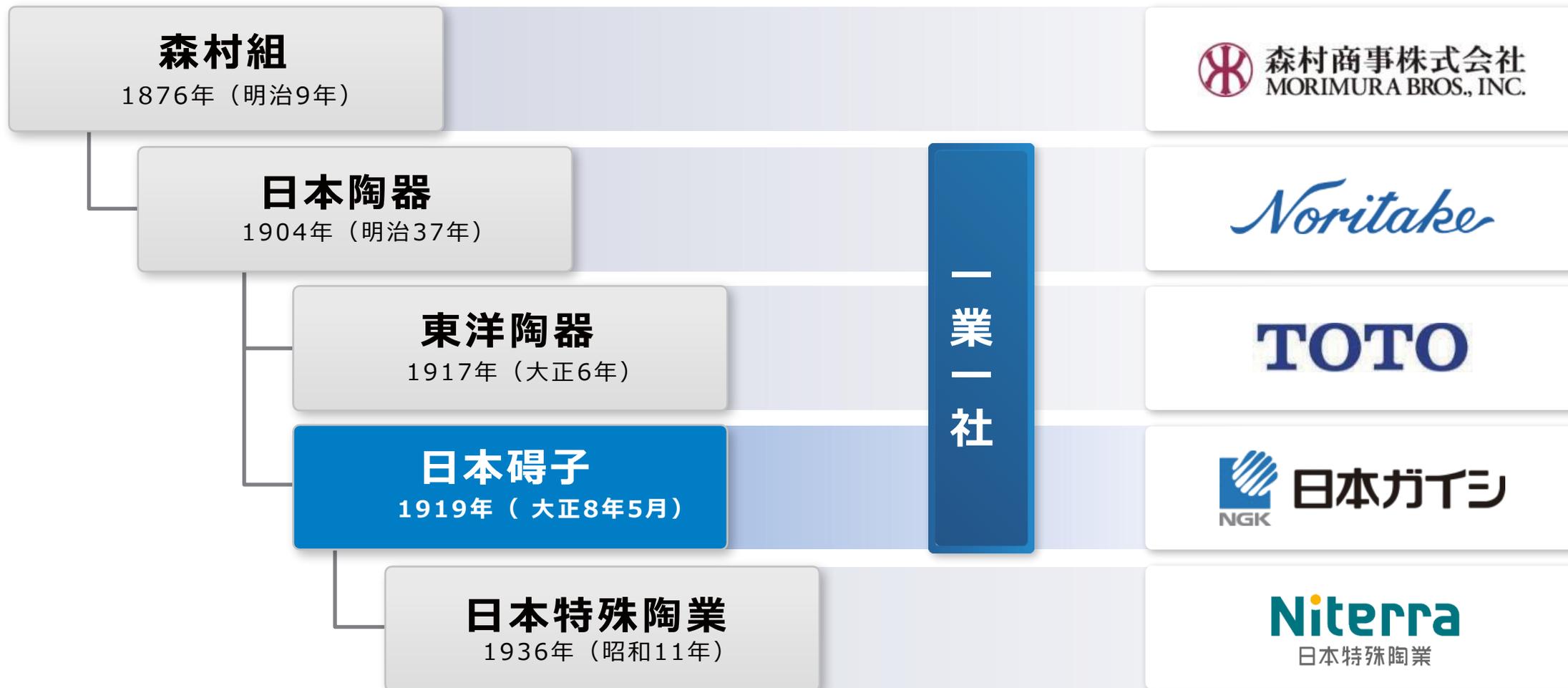
社員一人ひとりが誇りと挑戦マインドを育む グループアイデンティティ 浸透の場。
そして、社内外の知見を融合し、新しい価値を創造する オープンイノベーション 推進の場。
ここから始まる挑戦が、変革を加速させる。
それが「DIVERS」です。

「持続可能な“食”インフラ実現に、私たちは何ができるか？」

～セラミックスで、食の未来を支える～

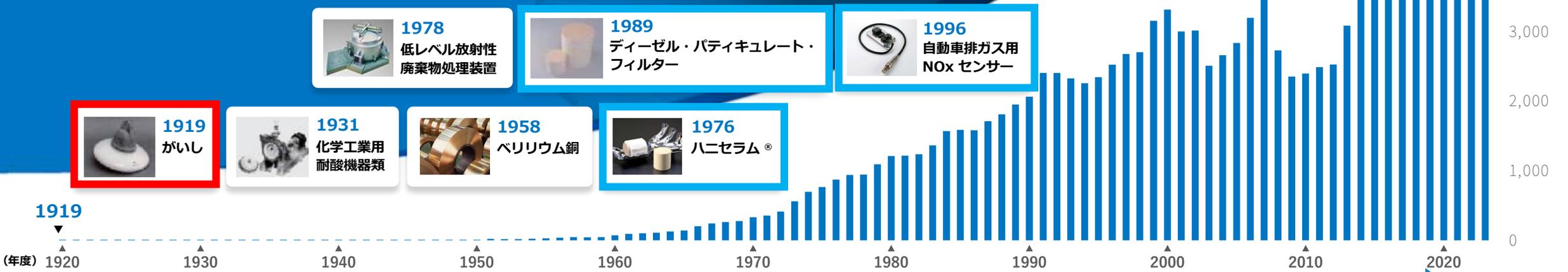
日本ガイシ株式会社
NV推進本部





社会に新しい価値を そして、幸せを

高品質で信頼性の高いがいし製造を通じて培った独自の技術力を核に、産業の発展や人々の暮らしを支え、社会課題の解決に役立つ製品を次々と生み出すことで持続的な成長を果たしてきました。



1919
がいし

1931
化学工業用耐酸機器類

1958
ベリリウム銅

1976
ハニセラム®

1978
低レベル放射性廃棄物処理装置

1989
ディーゼル・パティキュレート・フィルター

1996
自動車排ガス用 NOx センサー

1996
半導体製造装置用セラミックス

1998
インクジェットプリンター用圧電マイクロアクチュエーター

2002
家庭用浄水 C1®

2003
NAS® 電池

2012
ガソリン・パティキュレート・フィルター

2014
複合ウエハー

2015
HDD 用マイクロアクチュエーター

2016
ニッケルすず銅

2018
FGAN®

2019
EnerCera®

第一の創業：電力の発展による、がいし事業の成長

第二の創業：自動車排ガス規制とグローバル化

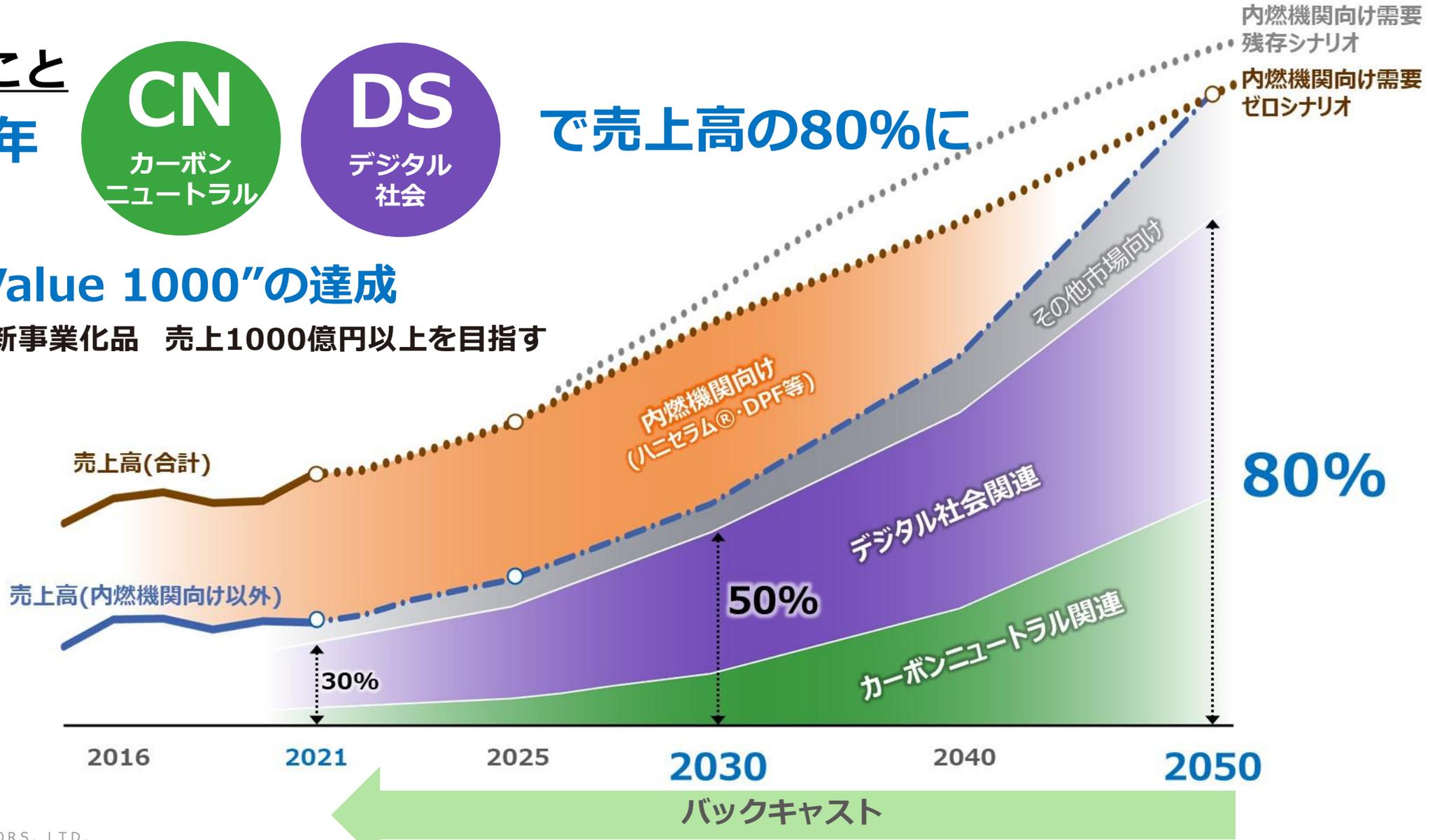
目指すこと
2050年

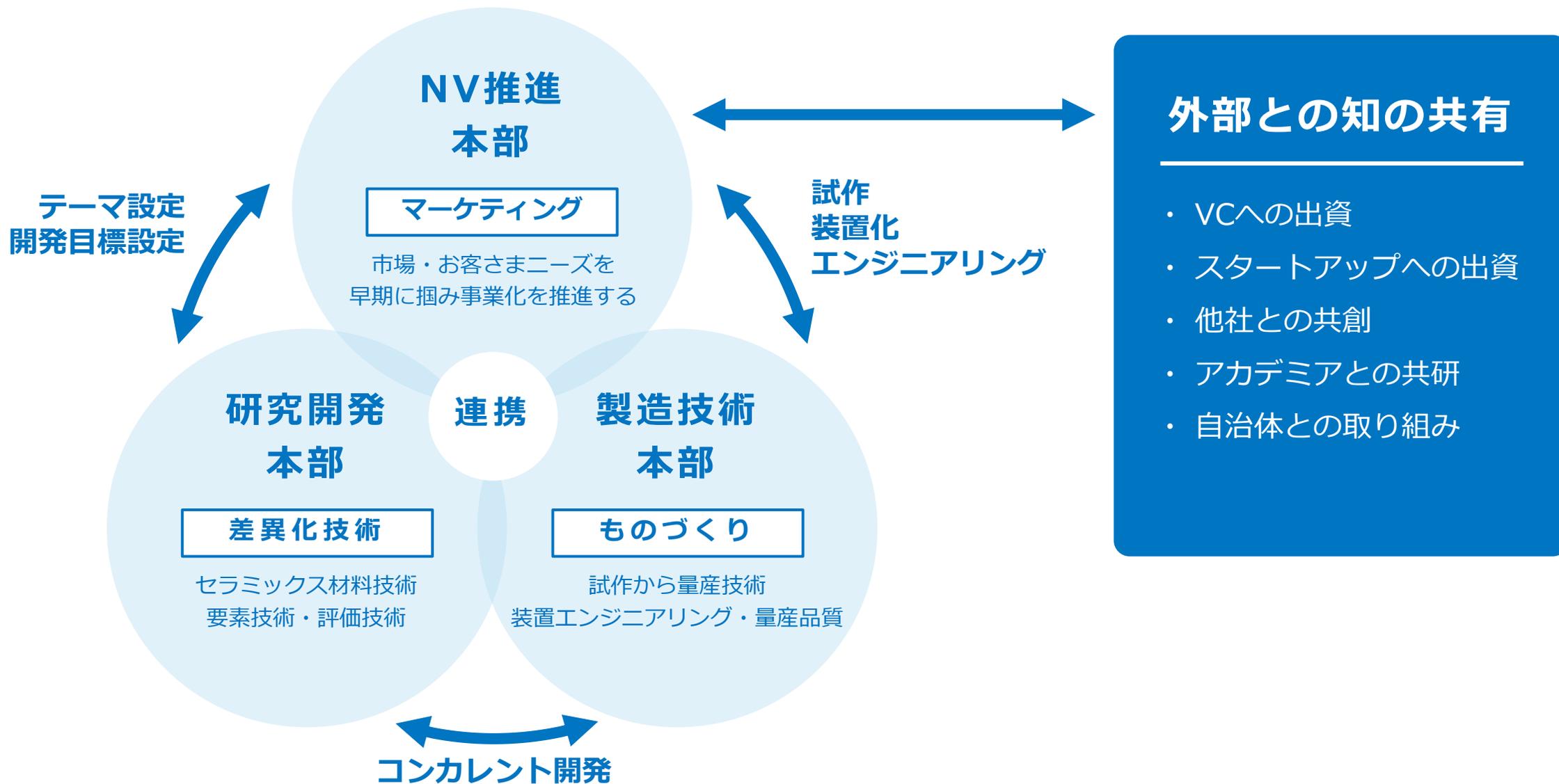


で売上高の80%に

“New Value 1000”の達成

2030年に新事業化品 売上1000億円以上を目指す

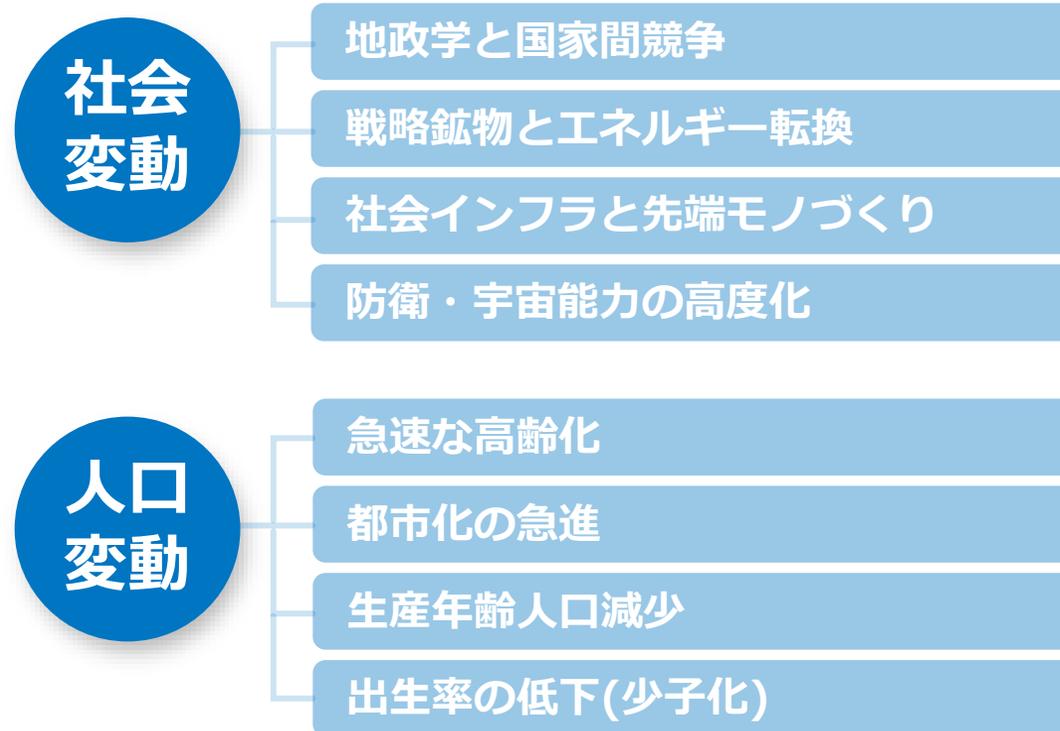
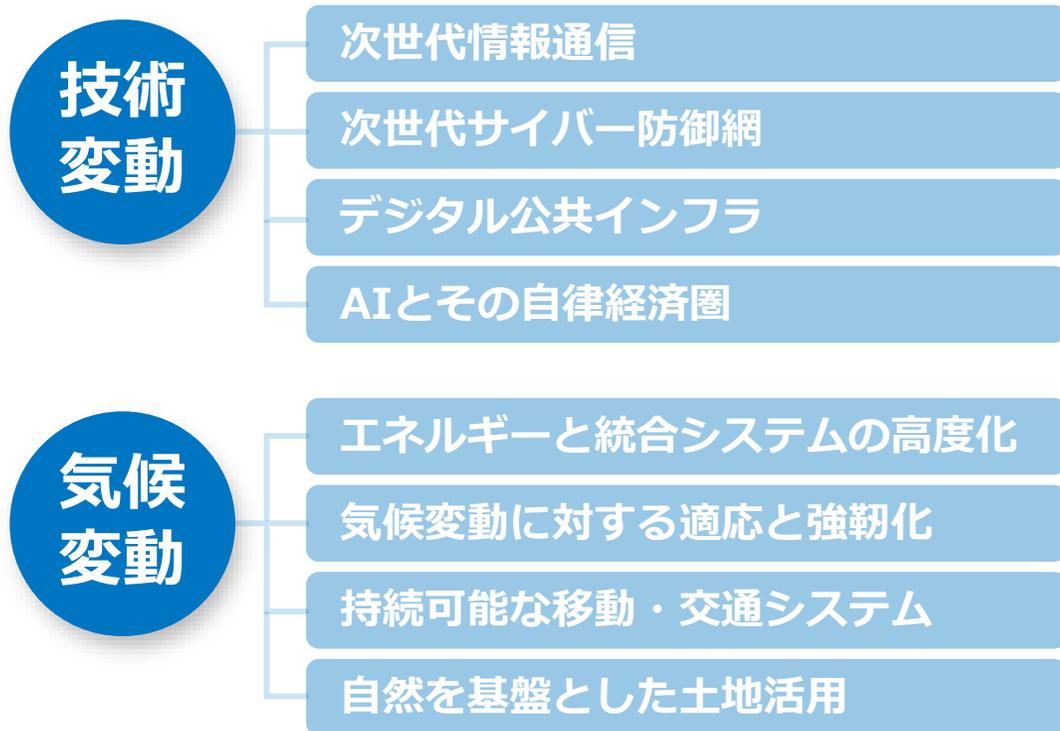




- **生産基盤**：農地（面積・質・集約度）、担い手（年齢・規模・技術）
- **上流資源**：肥料・飼料・エネルギーの依存度と代替可能性
- **調達構造**：調達・在庫・備蓄（国際関係）

▶ **日本の農業・食料システムの本質課題は、
「レジリエンス（耐性・回復力）の不足」**

技術、気候、社会、人口変動というメガトレンドを基に、グローバルで提唱されているマクロトレンドを抽出



“持続可能な未来をつくる” という観点において、想定される課題を抜き出してみると、、、

環境・気候・資源

再生可能エネルギーの拡大

水素・次世代エネルギー商品

輸送・産業・物流の脱炭素化

CCUS・BECCS

循環型経済

廃棄物管理

水供給・水処理・レジリエンス

土壌健全性管理

農林業のレジリエンスと再生

都市の熱リスクと冷房需要

都市・社会の持続性

スマートシティ・都市居住モデル

スマート建設

災害管理システム

社会参加・コミュニティ支援

健康アクセス・統合ケア

デジタルが支える持続可能性

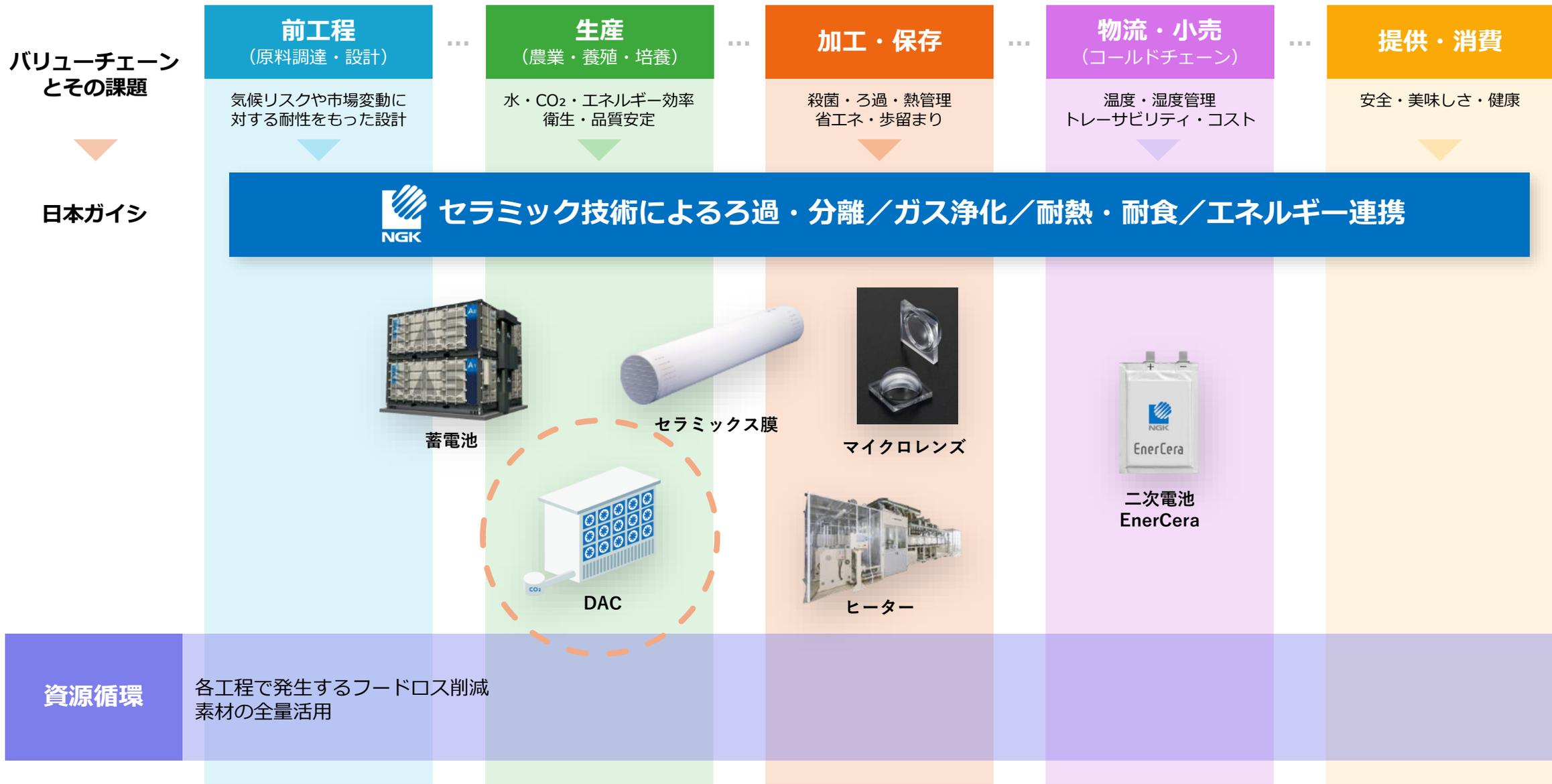
持続可能なデータ基盤

AIガバナンス

スマート農業

エネルギー×AI×ネットワーク管理

食のバリューチェーンからみる日本ガイシが貢献できること



NGKは、産業が回り続けるための“黒子”です。

そしてこれからも、なんでも技術で変えていく。

皆様と一緒に持続可能な食のインフラ実現を目指します。